

創立50周年記念シンポジウム

共催 (一財) 旗影会、(株) 中島董商店

日本ワインの サプライチェーンの品質向上からの学び

開催日時・場所

2025年

9月16日 火

東京農業大学 世田谷キャンパス

国際センター2階 榎本ホール

13:30～17:00 (受付13:00～)

参加方法

参加費

シンポジウム

交流会

無料

6,000円

参加
申込



準備の都合のため、参加には、
事前登録が必要です。

申込締切延長：9月10日 (水)

<https://forms.office.com/r/rKu5uhJwSu>

シンポジウム プログラム

13:30	主催者からのご挨拶	(一社) 日本食品保蔵科学会 会長・アグリ・テクノロジー部会 会長/東京農業大学前学長 名誉教授 高野 克己
13:40	共催者からのご挨拶	(株) 中島董商店 代表取締役社長/東京農業大学客員教授 中島 周
13:45	急伸する日本ワインの現状	フリーランス ワインジャーナリスト&コンサルタント 石井もと子
14:20	地理的表示とワイン産地形成	山梨県産業技術センター 主幹研究員・部長 恩田 匠
14:55	山梨県果樹試験場における醸造用ブドウ育種の取組について	山梨県果樹試験場 育種部 部長 新谷 勝広
	(休憩)	
15:40	山梨大学におけるワイン醸造研究 ～次世代ワイン人材育成へのアプローチ～	山梨大学ワイン科学研究センター 教授 乙黒 美彩
16:15	ワイン流通の現状と未来 ～日本市場における戦略と課題～	WINE TO STYLE(株) 取締役 ブランド・ディレクター 武村 嘉彦
16:50	閉会のご挨拶	(一社) 日本食品保蔵科学会 副会長/東京農業大学 客員教授 久能 昌朗

交流会

17:10～18:30 東京農業大学国際センター 1階

お問合せ

(一社) 日本食品保蔵科学会 事務局
東京農業大学応用生物科学部農芸化学科
食料資源理化学研究室内

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1

E-mail jafps@nodai.ac.jp

世田谷キャンパス アクセスMAP

▶ 小田急線「経堂」もしくは「千歳船橋」より、徒歩15分。
▶ 「千歳船橋」「渋谷」「用賀」からバスで来ることも可能です。



日本ワインのサプライチェーンの品質向上からの学び

開催趣旨

日本食品保蔵科学会は、食品のサプライチェーンにおける品質向上と地域産業の振興を目的として、様々な食品分野を題材にした研究交流を進めてきました。本年2月には、地域食品産業の一例として注目される「日本ワイン」を題材に、地域産業や食品保蔵科学の視点からその発展と課題を探るシンポジウムを開催し、好評を博しました。

このたび開催する第二弾のシンポジウムでは、引き続き「日本ワイン」を題材としながらも、より広く食品サプライチェーンの各プロセス(原材料生産、製造、品質評価、流通、消費)における技術的・経営的課題に焦点を当てます。ワイン産業に限らず、他の食品分野にも通じる知見を得ることを目的としています。

講演者には、山梨県を中心としたワイン産業の専門家に加え、グローバルな食品流通を展開する中島董商店グループの先生をお招きし、実践的な視点からのご講演をいただきます。

本学会としては、食品保蔵科学の立場から、ワイン産業の事例を通じて食品サプライチェーン全体の品質向上に資する知見を得ることを目指し、本シンポジウムを開催いたします。

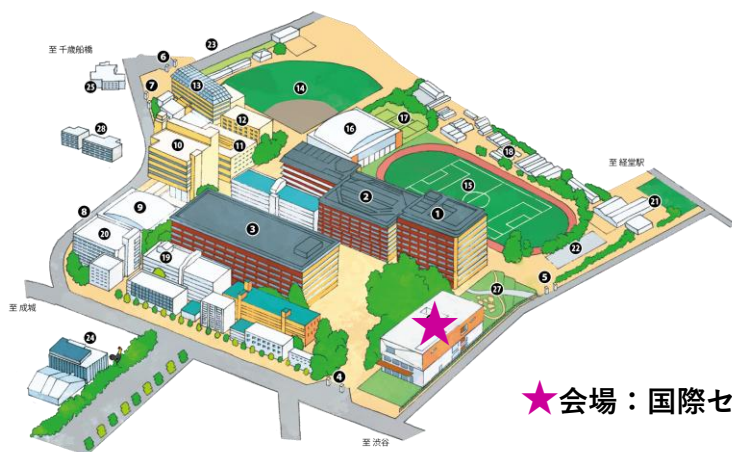
交流会でのワイン情報

日本ワイン 山梨県のワイナリーを中心に約10のワイナリーのワインをご準備します。

輸入ワイン (株)中島董商店様よりご協賛いただき、輸入ワインをご準備します。

会場案内

東京農業大学世田谷キャンパス



★会場：国際センター

- 電車
 - 小田急小田原線
経堂駅から徒歩15分
 - 東急田園都市線
用賀駅から徒歩20分
- バス
 - 渋谷駅からバス 約30分
(渋谷駅～農大前)
 - 小田急バス
調布駅南口行 (渋26)
 - 東急バス
成城学園前駅西口行 (渋24)
 - 用賀行 (渋22)
 - 祖師ヶ谷大蔵駅行 (渋23)

(一社) 日本食品保蔵科学会への入会のご案内

本学会は、食品の低温保蔵に関する基礎的研究ならびに応用に関する研究を推進し、生産、貯蔵、加工、流通等の技術およびこれらに関する機器の改善を図り、食品流通の合理化と食生活の安定を期とすることを目的とし、1975年「日本コールドチェーン研究会」として発足しました。1987年「日本食品低温保蔵学会」として組織を拡大し、日本学術会議学術登録団体に認定され、会員数約1,000名を擁する学会となりました。さらに1997年に食品保蔵分野の拡大と学問技術の発展を受け、学会名を「日本食品保蔵科学会」と改称し、新たな社会的ニーズに応じております。学会誌「日本食品保蔵科学会誌—Food Preservation Science—」を隔月に発行するとともに、大会ならびにシンポジウム、セミナー等を開催しております。本学会の趣旨をご理解いただき、ご入会についてご検討下さいますようお願い申し上げます。

入会案内



学会事務局 〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1 東京農業大学 応用生物科学部 農芸化学科 食料資源理化学研究室内
<https://jafps.smoosy.atlas.jp/ja> e-mail : jafps@nodai.ac.jp

東京農業大学総合研究所研究会への入会のご案内

東京農業大学総合研究所研究会は、1981年に「東京農業大学総合研究所の行う産学官協力研究事業その他これに関する事業の発展に協力する」ことを目的に設立された会員制の組織です。現在、会員数は620名を超え、課題・研究分野ごとにつくられた36の部会では共同研究の実施や研究情報の交流等が積極的に行われています。現在の大学における研究は、「知の創造」とともに「知の応用」面でも社会に開かれた活動を展開することが求められています。また、ベンチャー起業化、知的財産の有効活用面でも大学と産業界との連携の重要性が益々高まっているといえます。今後は、これまで地道に積み上げてきた蓄積を踏襲するとともに、さらなる研究会活動の発展による産学官連携研究の活性化を目指し、次の活動を積極的に実施していきます。

入会案内

